



### とまり 泊海水浴場

野伏港から一番近い海水浴場です。入り江で扇状に広がる美しいビーチは、外海の影響を受けにくい遠浅の海なので、子ども連れの海水浴におすすめです。



ダイビングなど、初心者向けのマリナクティビティが充実しています。シーカヤックで海から式根島を眺めることもできます。

## 海のアクティビティが充実

リアス海岸で入り江に恵まれた式根島は、風や波の影響を受けにくいので、安全に海遊びを楽しめる海水浴場が充実しています。いずれも近距離にあるので、一日のうちに場所を移動して楽しむこともできます。また、ダイビングや子どもでも楽しめる各種アクティビティも揃っています。

### 中の浦海水浴場

神引湾と大浦海水浴場の中間に位置しています。透明度が抜群に高く、魚やサンゴなど生き物が豊富です。



### いしじろがわ 石白川海水浴場

波が穏やかでスノーケリングやダイビングにもってこいの海岸です。海岸の近くにはレストランや商店も多くとても便利です。



### 大浦海水浴場

砂浜と岩場があるので、海水浴も磯遊びも楽しめます。岩肌が水を飲む馬の姿に見えることから「馬の首」と呼ばれています。



島の北側、野伏港と小浜港の中間に位置する高森山に作られた石油ランプ式の灯台です。漁船の遭難事故が多いことに心を痛めた「宮川タン」さんという女性が、個人で5年の歳月をかけて、コーガ石でできた石油ランプを置くと、1000段以上の石段を作りました。1930（昭和5）年、75歳のときに完成させると、それから約15年に渡って毎夜明かりを灯し続けました。

## 海の安全を祈る高森灯台

## 海の近くのキャンプ場

### 釜の下キャンプ場

石白川海水浴場のそばに立地し、商店やレストラン、温泉に近くとても便利なキャンプ場です。ゴールデンウィークと夏期をのぞく3〜6月及び11月に利用できます。無料ですが、式根島観光協会にて受付が必要です。



### 大浦キャンプ場

大浦海水浴場に隣接するキャンプ場で、夜は天気良ければ満天の星空を楽しむことができます。ゴールデンウィークと夏期のみ利用可能です。釜の下キャンプ場同様に無料ですが、式根島観光協会にて受付が必要です。





## 野性味溢れる式根島の温泉

式根島は、3つの天然露天風呂とひとつの温泉施設があります。天然露天風呂は、いずれも水着を着用することができます。24時間無料で入浴することができます。目の前の大海原を眺めながら、自然と一体となった入浴は、式根島旅行の醍醐味といえます。

地鉦温泉と足付温泉は、入浴に適した時間が限られます。入浴にベストな満潮の時間帯は日によって変わるため、宿泊施設や式根島観光協会に確認してください。松ヶ下雅湯は、当時の皇太子殿下と雅子様のご成婚を記念し、「雅」の字をいただいて命名されました。また、足湯は水着がなくても利用可能です。

### 地鉦温泉（内科の湯）

式根島を代表する温泉です。まるで鉦で地面を割ったような峽谷を通り抜けると、鉄錆色の温泉が待っています。泉質は塩泉で硫化鉄泉。神経痛や胃腸病などに効能があるとされていることから、内科の湯とも呼ばれています。泉温は80度超と高いため、特に干潮時には熱くて入浴できないこともあります。

### 足付温泉（外科の湯）

地鉦温泉とは泉質の異なる無色透明な炭酸泉の温泉です。切り傷などに効能があり、1800（寛政12）年に書かれた『伊豆七島風土細覧』にも「浴すれば皮上癒えて」と記され、古くから親しまれています。



### 湯加減の穴

地鉦温泉に行く途中の壁に開いている湯加減の穴は、源泉とつながっており、中は温かいです。



### 松ヶ下雅湯

潮の干満に関係なくいつでも入れるよう、1993（平成5）年に造られた露天温泉です。地鉦温泉から源泉をひいています。車で近くまで行けるので、利用者も多いです。夜になると明かりが灯り、風情があります。



すり鉢状に作られたまいまいず井戸は螺旋状の小道を通って向かう。

## 貴重な水の源「まいまいず井戸」

1890（明治23）年から3年の長い歳月をかけて、当時式根島に渡った20人足らずの住民と新島からの協力者によって人力で掘った井戸です。「まいまいず」とは、カタツムリのことです。井戸に降りる通路の形状が似ていることから、そう呼ばれています。井戸の完成によって島の暮らしが急速に発展しました。なお、現在は新島から海底送水管を使って受水しています。

北側の山中には「水神様」が祀られている。



城ではない。「津城」は「人や魚が集まる所」という意味の昔言葉。唐人津城の断崖絶壁の下が良い漁場だったことに由来。



とうじんつしろ  
唐人津城

憩の家  
天候に左右されず入れる屋内温泉施設。



### 島内アクセス

レンタカー、レンタバイク、レンタサイクル  
(電動アシスト付きを含む) あり

### 島の窓口



**式根島観光協会**  
〒100-0511  
東京都新島村式根島923



**新島村産業観光課**  
〒100-0402  
東京都新島村本村1-1-1



式根島養殖場  
シマアジ・マダイを養殖。島外注文も受け付ける。



クジラのオブジェが目印で星空スポットとしても知られる。



ウミネコ  
くんじ山展望台あたりで多く見られる。

### 島めぐりコース

#### 【1日目】

- 午前 野伏港に到着 → 民宿の車で宿へ → レンタサイクルで泊海水浴場へ移動
- 午後 自転車と徒歩で唐人津城をめざす → 神引展望台で休憩 → 唐人津城で火山の島を体感 → 夕日ヶ丘で夕日を眺める

#### 【2日目】

- 午前 レンタサイクルで民宿を出発 → まいまいず井戸を見学 → 湯加減の穴で温度をチェック
- 午後 地鉦温泉の露天風呂体験 → 憩の家の温泉で露天風呂の海水を流す → 野伏港から出港

# 神津島

水の恩恵を受けた  
神話が息づく島



## 神津島はどこにあるの？

位置：都心から南に172km

面積：18.24km<sup>2</sup>

### アクセス

航路：竹芝－神津島（東海汽船）高速船で

約3時間5分／大型客船で約9時間55分

空路：調布飛行場－神津島空港（新中央航空）飛行機で約45分

KOUZUSHIMA

OGASAWARA Islands.



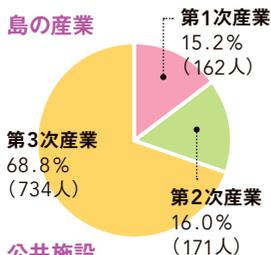
## information

### 島の人々

人口：1,891人

世帯数：791世帯

### 島の産業



### 公共施設

役場：1

医療機関：1

小学校：1

中学校：1

高校：1

### 神津島村の特産物

水産生鮮品：キンメダイ、アカイカ、タカ

ベ、イセエビ、クロムツ、メダイ

水産加工品：くさや、テングサ、トサカノリ、赤イカ入塩辛、岩のり

農林産生鮮品：レザーファン、アシタバ、ミニトマト、パッションフルーツ

農林産加工品：焼酎、パッションフルーツジャム、パッション煎餅、島スープ

工芸品：黒曜石細工、貝アクセサリー

### 神津島村のシンボル

花：コウツエビネ

木：サカキ

鳥：インヒヨドリ

魚：カジキ（カジキマグロ）



伊豆諸島・小笠原諸島の中で神津島のキンメダイは漁獲量No.1。



## 神が集いし島

神津島は、事代主命ことしろぬしのみことという神様が伊豆諸島の島々を創るために、神々を集めて相談をする拠点とした言い伝えがあります。「神が集いし島」すなわち「神集島」と書いたのが転じて現在の「神津島」になったといわれています。また、命の源である水を、島々でどのように分配したらよいかという会議も神津島で行われたと伝えられています。

## 豊富な水

実際、神津島は水が豊かで、村の水道水は地下水を利用しているほど。豊富な水を生み出している理由のひとつにあげられるのが、神々の話し合いの舞台とされている天上山てんじょうさんです。冬に強く吹く西寄りの風の影響で、天上山の8合目以上は岩や石が風化して白砂の砂漠が広がって

います。そこに雨水が浸み込み、地下水が山の周辺のいたるところから湧き出ています。

「東京の名湧水57選」にも選定されている「多幸湧水たこうゆづみ」はそのひとつ。集落のある港とは反対側に面した多幸湾周辺に湧きでており、豊富な水を島民に与えることから、幸多き場所ということが多幸と名が付いたといわれています。

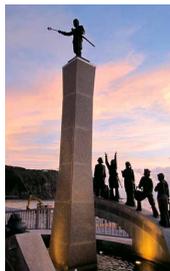
## 島の観光

神津島には、透明度の高い水浴場があり、多くの観光客が訪れ賑わいます。また、海だけでなく、神津百観音をめぐるハイキングや天上山トレッキングなど、年間を通して観光を楽しめるのも神津島の特徴です。



「東京の名湧水57選」に選ばれている多幸湧水。

## 神話と信仰の島



水の分配会議が行われた伝説を伝える水配り像。

神津島には、古くから多くの神話が残されていますが、特に有名なのは「伊豆諸島の水配り伝説」です。島の中央に位置する天上山に伊豆諸島の神々が集まり、水の分配会議が行われたというものです。水の分配は先着順に行うこととなり、一番早く着いた御蔵島の神様は、多くの水をもらい受けました。続いて新島、八丈島、三宅島、大島の順に配られ、寝坊して最後にやってきた利島の神様のときには、水はほとんど残っていませんでした。利島の神様は怒り、残った水に飛び込んで暴れると、水が四方八方に飛び散り、神津島ではいたるところで水が湧き出るようになったといわれています。神話に由来する古い歴史と伝統をもつ神津島は、祖先を敬う厚い信仰が息吹いており、神社や寺、祭や伝統行事を守り続ける風習が残されています。



水配り伝説の舞台とされている天上山。

### 不入が沢

伊豆諸島の神々が集まり、水配りの会議が行われた神話の舞台と伝えられ、今もなお足を踏み入れてはいけぬ神聖な場所とされています。



### 不動池

天上山にあるハート形の池で、池の中央には龍神を祀る社があります。古くは島の漁師たちの信仰の対象となっていました。



### 五色浜海岸

島の北側にある長浜海岸は、別名「五色浜」海岸と呼ばれています。浜に色とりどりの玉石があることで知られていますが、事代主命があちこちに后を作ることになった阿波命が、后たちの宝石を奪い集め、これが玉石になったという言い伝えがあります。今でも、海岸の石を持ち出すと神罰が下るとも伝えられています。



### 神津百観音

江戸時代に流行した札所巡りが神津島にも伝えられ、島内には坂東三十三観音霊場を模した庵屋堂や秩父堂、観音堂など100基の石塔があります。



### おたあジュリアとキリスト教



徳川家康の侍女でキリシタンだったおたあジュリアは、幕府が禁教令を出した後も信仰を続けたため、神津島に流刑になりました。ジュリアは島で人々の生活を献身的に助け、その様子は今に語り継がれており、ジュリアをしのんだ祭りも開催されています。写真は、ヨハネ・パウロ2世に贈られたジュリアの人形と同型のもので（神津島村郷土資料館所蔵）。

### 猿田彦大神

神津島では、病魔や病鬼を払う神といわれている猿田彦大神が26カ所で祀られ、旧暦1月25日には、猿田彦大神を礼拝する島の神事「二十五日様」が行われています。





## 神津島の漁業

昔から漁業が盛んな島で、キンメダイやタカベ、アカイカ、イセエビなどの高級な魚類が豊富に水揚げされることが特徴です。特に、漁獲高の7割以上を占めるキンメダイは、ここ数年で神津島ブランドとして地位を確立し、高値で全国に流通されています。U・イターンを含め、20～30代の若手漁師が多いのも特徴で、研究会を立ち上げ、資源管理等にも取り組んでいます。



漁協女性部が運営する食堂「よっちゃーれセンター」の人気メニュー。丸ごと一尾を使ったキンメダイ煮魚定食。

## 島の歴史と貴重な文化財を継承

神津島村郷土資料館には、考古学的にも珍しい出土品や、島の歴史を物語る文献・古文書、石器時代の黒曜石の民具、江戸時代の千石船のものと思われる遺物、すずり、すりばち、300kgもある錨など、古代から現代までの島の自然、民族、歴史に関する多くの展示品があります。



伊予諸島近海に生息する小さな海鳥カンムリウミスズメの剥製。(国の天然記念物並びに絶滅危惧種指定)



島の民俗、民具、自然をジオラマやビデオとともに展示。



古代から現代までの神津島の歴史を知ることができる。



## 国の重要無形民俗文化財 「神事かつお釣り」



神事が行われる物忌奈命神社(ものいみなのみことじんじゃ)は前浜の漁港の上に鎮座している。

江戸後期11代將軍徳川家齊公の時代に始まった、例祭(8月2日)に伴う神振行事で、国の重要無形民俗文化財に指定されています。カツオ節が特産物であった当時、漁を終えて無事島に帰ることができたことを神に感謝し奉納されてきた行事です。古式にのっとったカツオ釣りが再現され、若い漁師が神社境内を駆け回り、島民を“カツオ”に見立てて釣り上げる楽しい行事です。

## 黒曜石 ミステリー



黒曜石を材料とした矢じり。狩猟に使われていた。

神津島の黒曜石は、質が高く埋蔵量は日本一といわれています。マグマが急速に冷えて出来る天然のガラスで、割れた縁が薄く鋭利なため、縄文時代や弥生時代には石器の材料として欠かせませんでした。後期旧石器時代(約3.5万年から1.5万年前)の神奈川県大和市の月見野遺跡や能登半島、紀伊半島からも神津島の黒曜石が発見されています。当時の遺跡からは丸木船しか出土していないため、どのようにして本州へ黒曜石を運搬したのか、一つの謎となっています。

## 島の人気スポット・赤崎遊歩道

島の北部に位置する赤崎海岸に造られた全長約500mの木造遊歩道。遊歩道の展望台からは伊豆諸島北部の島々や、富士山、南アルプスなどを望むことができます。海の波も穏やかで透明度が高いため、たくさんの種類の魚が見られ、スノーケリングを楽しむのに最適なスポットです。また、遊歩道に設けられた飛び込み台は夏になると島の子どもたちや観光客で大賑わいです。

夏には大賑わいの飛び込み台。



## 天上山のアルプス



山頂に広がる広大な白砂の砂漠「表砂漠」と「裏砂漠」。風の音以外何も聞こえないところにある美しい景色。

島の中央にそびえる天上山は標高572mの山で、昔から島の神聖な場所とされています。山頂周辺になると高木が少なくなり、背の低いまま成長した植物を多く見ることができます。天上山は「新東京百景」にも選定されており、360度の眺望を楽しめる天空の丘や、砂が堆積してできた表砂漠や裏砂漠などが望めるビュースポットが点在しています。

## 水着のまま温泉へ 神津島温泉保養センター

島で唯一の日帰り温泉施設で、水着で入れる大小の露天風呂と展望露天風呂の他に、男女別の内風呂があります。自然の岩場を利用した大露天風呂は約275㎡あり、日本でも有数の広さを誇ります。21時まで営業しているので、夕食後に夜空に輝く星を見ながらゆったりとくつろぐこともできます。また、小露天風呂からは沢尻湾を見渡すことができます。



展望露天風呂からは、晴れた日には、太平洋に沈む夕日を眺めることができます。

## 神津島の植物



ハマシャジン  
9〜10月／葉が厚く  
光沢があるのが特徴。

コウズエビネ  
4〜5月／  
神津島独特の蘭。



オオシマトツジ  
4〜5月／天上山の随所に  
自生している。

天上山は「花の百名山」にも選定されており、春のオオシマトツジやハマシャジン、秋のリンドウ、ウメバチソウなど四季折々に咲く美しい花々を見ることができます。また、神津島には多くの野生の蘭が自生しており、コウズエビネは神津島独特の蘭です。毎年4月には「コウズエビネを中心に約100鉢のエビネランを展示する「神津島えびね展」が開催されています。



長年の波の浸食によりできた岩。



© (公財) 東京観光財団

崖を下って15分ほどの場所にある秘境スポット。海水の池で大きな波がきたときに海水が流れ込む。海水浴場ではないので遊泳はできない。



## 島内アクセス

バス、タクシー、レンタカー、  
レンタバイク、レンタサイクルあり

### 島の窓口



#### 神津島観光協会

〒100-0601  
東京都神津島村37-2



#### 神津島村産業観光課

〒100-0601  
東京都神津島村904

## 島めぐりコース

- ..... 【1日目】 .....
- 午前 港に到着 → バス等で宿へ → 集落を散策 → **よっちゃーれセンター**でキンメダイ定食のランチ
- 午後 バスに乗って**赤崎遊歩道**へ → **神津島温泉保養センター**の温泉で水着のまま夕日を眺める → 宿に戻り地魚料理を堪能
- ..... 【2日目】 .....
- 午前 商店でお弁当購入 → **天上山**のトレッキング → **不入が沢**を通して、最高地点から眼下に広がる海を眺める(お弁当) → **不動池**、**表砂漠**などを楽しみながら下山
- 午後 白砂が続く**前浜海岸**で海を眺める → バスで**多幸湾**に移動して湧水を味わう → 出港

# 三宅島

火山とともに生きる島



## 三宅島はどこにあるの？

位置：都心から南に180km  
面積：55.2km<sup>2</sup>

### アクセス

航路：竹芝－三宅島（東海汽船）大型客船で約6時間30分  
空路：調布飛行場－三宅島空港（新中央航空）飛行機で約50分

MIYAKEJIMA

OGASAWARA Islands.

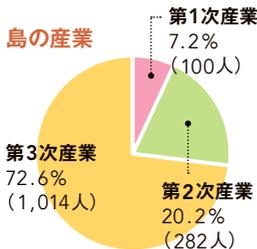


## information

### 島の人々

人口：2,482人  
世帯数：1,483世帯

### 島の産業



### 公共施設

役場：1  
医療機関：1  
小学校：1  
中学校：1  
高校：1

### 三宅村の特産物

水産生鮮品：キンメダイ、カツオ、マグロ、タカベ、イセエビ  
水産加工品：テングサ、トサカノリ、干物、燻製  
農林産生鮮品：アシタバ、サトイモ、キキョウラン、ドラセナ、レザーファン、パッションフルーツ  
農林産加工品：明日葉商品（麺、お茶、カレー、炊き込みご飯など）、三宅漬け、焼酎  
工芸品：貝アクセサリー

### 三宅村のシンボル

花：ガクアジサイ  
木：スダジイ  
鳥：アカコッコ

国の天然記念物で絶滅危惧ⅠB類にもなっているアカコッコ。





## 火山と共にある 三宅島の歴史

三宅島は、伊豆諸島の中で大島、八丈島に次ぎ3番目に大きな島で、その面積は山手線の内側と同じくらいです。

古来より三宅島は、伊豆諸島の中で最も噴火の多い島として有名で、記録として残されている最古の噴火は『壬生家系図』(※1)における1085(応徳2)年のものです。また、島名の由来には諸説あり、ひとつに火山の噴火が多いことを起源とする「御焼島」説があります。

噴火は島民の信仰にも大きく影響を与えています。三宅島には、神名帳(全国)の神社一覽じんみょうちやうに記載されているだけで70社、現存しながら未記載のものを含めると100社以上の神社があります。特に噴火に関する神社が多く、昔から島民は神に信心することで、自然災害を乗り越えてきたことがわかります。

## 復興の道を歩む三宅島

2000(平成12)年の噴火により、島民は島外での避難生活を余儀なくされました。全島避難指示は約4年半にわたり、2005(平成17)年により、ようやく解除されました。帰島直後は火山ガス等で枯れた樹木ばかりでしたが、島に緑を戻すために多くのボランティアが植樹活動を続けています。こうした活動と自然の力によって、現在は緑が増えてきている三宅島を見ることが出来ます。そのほか、行事等も復興を後押ししています。富賀神社大祭は、2009(平成21)年に11年ぶりに復活し、多くの人が島を訪れています。

富賀神社大祭





## 雄大な景観は、まるで天然の火山博物館

円形の島である三宅島の中央には、活火山・雄山（標高775m）があります。雄山の標高はもともと814mでしたが、2000（平成12）年の噴火で山頂が陥没すると、山頂の直径約3.5kmの外側カルデラの中に直径1.6kmのカルデラと深さ約500mの火口が誕生し、現在の標高になりました。

2000（平成12）年の噴火のほか、近年では1983（昭和58）年、1962（昭和37）年、1940（昭和15）年と、約20年周期で噴火しています。こうした度重なる噴火によって、三宅島では火山島ならではの景観や噴火の痕跡を見ることができます。火山体験遊歩道付近では、溶岩に飲み込まれた旧阿古小中学校がそのままの姿で残っており、自然の驚異を肌で感じることができます。こうした島内のジオスポットを自然ガイドに解説してもらいながら巡るツアーも人気です。

1983年の噴火で形成された火砕丘の新鼻新山（にっばしんさん）。



1940年の噴火により約22時間で形成されたひょうたん山。新東京百景に選ばれている。



度重なる噴火で湾を埋め尽くした溶岩台地の赤場岬（あかばきょう）。



2000年の噴火で社殿と鳥居が泥流に飲み込まれた椎取神社。

1983年噴火時の溶岩の上に作られた火山体験遊歩道。



火山島ならではの溶岩帯をバイクで駆け抜けます。



## 噴火災害復興の起爆剤 オートバイの祭典

三宅島では、2007（平成19）年からバイクレース「WERIDE 三宅島」が開催されています。イベント名「WERIDE」には、島民だけでなく、日本中、世界中のバイクファンともに（WE）、三宅島のバイクレース（RIDE）を応援し創っていくという復興・島おこしに対する想いが込められています。三宅島のシンボルである雄山と太平洋に囲まれた壮大なロケーションの中をオフロードバイクで走行できる、他に類のないバイクレースとして人気を集めており、今では申込開始から応募が殺到するほどのイベントに成長しています。



ユニークな観光振興策としてはじまったイベント。

## 黒潮の恩恵を受ける 三宅島の海

黒潮の恩恵を受ける三宅島周辺の海には、熱帯魚、大型の回遊魚、ウミガメなどが生息しています。三宅島では、こうした多様な生物に出会えるダイビング、スノーケリングが人気です。富賀浜付近の海では、伊豆諸島最大といわれるテーブルサンゴの群集が見られます。

また、豊富な魚種と魚影の濃さが特徴といわれ、大物が狙える三宅島の海は、釣り人の聖地とも呼ばれています。釣りの楽しみ方はさまざまで、磯釣りのほか、知識と経験のある船長に案内してもらえる船釣り、大野原島（通称：三本岳）など絶好の釣りポイントへ渡船で向かう沖磯釣りなどがあります。釣り人の幅広い期待に応えられる三宅島の釣りは、海外からも含めて多くのリピーターを惹きつけています。

サンゴの群集、回遊魚、ウミガメなどに会える。



釣り人憧れのスポット、大野原島（通称：三本岳）。



天然のタイドプール（潮だまり）になっている長太郎池。

## 三宅村の木「スダジイ」



三宅島は度重なる噴火の一方で、樹齢数百年の巨樹が数多く残されている稀有な場所です。2016（平成28）年の「第29回 巨木を語ろう全国フォーラム」において、三宅村は日本一巨樹が多い村として発表されています。大路池の園地では、幹周り7.5m、樹高15mの樹齢600年といわれる巨大なスダジイに出会えます。噴火を司る神が宿る御神木と伝えられ、「やどり木」という呼び名があります。また周辺の密林に迷い込んでも、この大木が目印になることから「迷子椎」とも呼ばれています。

## 国の天然記念物 アカコッコ



アカコッコは、国の天然記念物に指定されている三宅村の村鳥です。主な生息地域は伊豆諸島と鹿児島県のトカラ列島で、日本の固有種です。ツグミの仲間では大きさはスズメの倍くらい、赤いお腹と黒い顔が特徴です。三宅島は別名バードアイランドと呼ばれ、アカコッコのほかにも、カラスバトやイジママシクイなど、限られた地域でしか見られない貴重な野鳥をはじめ、数多くの野鳥が生息しているといわれています。中でも大路池周辺は生息密度が高く、探鳥ポイントのひとつです。



## 船祝い

鮮やかな大漁旗が掲げられる漁船から漁港を訪れた人に向かってみかんなどが撒かれます。人々がカゴやダンボールを広げ受け取る様子は島の正月の風物詩です。



## 富賀神社大祭

神輿は富賀神社のある阿古地区から出発し、伊ヶ谷、伊豆、神着、坪田で正式な儀式により受け渡され各地区の神社に一泊しながら6日間で全島を一周します。

## 三宅島の祭りと郷土芸能

三宅島に昔から続いている代表的な行事に、船祝い、牛頭天王祭、富賀神社大祭があります。

船祝いは、船霊様に新年の豊漁と安全を祈願する正月行事で、1月2日に島内数か所の漁港で一斉に行われます。7月第3日曜日に行われる牛頭天王祭は、江戸時代から続く祭り、迫力ある神輿と木遣太鼓が見どころです。富賀神社大祭は、三宅島全地区の祭り、2年に一度、8月4〜9日に行われており、「富賀神社の巡り神輿」として、東京都無形民俗文化財に指定されています。地区間の神輿の受け渡しには、帰省客や観光客など多くの人が見物に訪れます。

また、祭りに欠かせない郷土芸能の島節、木遣太鼓、獅子舞、踊りなどは、各地区の芸能保存会や青年団などによって受け継がれています。



## 牛頭天王祭

五穀豊穡・大漁・家内安全・無病息災を祈願する祭りです。神着地区御笏神社で行われ、神輿、太鼓、木遣り(榊持ち)が三位一体となり地区内を渡御巡行します。



## 三宅島 神着木遣太鼓

腰を落として身体を左右に動かしながら打ち抜く打法が特徴の太鼓。

## 三宅村 レクリエーションセンター



廃校となった坪田中学校の体育館を利用して作られた、公共施設としては日本最大級のボルダリング施設です。当初はボルダー壁のみでしたが、リードができる壁が増設され、現在はボルダリングとリードクライミングの両方が楽しめます。

## 三宅島郷土資料館

廃校になった阿古小学校を改修し、2008(平成20)年に開館した施設です。三宅島の歴史・民俗や火山、流石文化などに関する資料が保存・展示されています。また、展示物のひとつである2000(平成12)年噴火時に役場で使用されていたホワイトボードには、刻一刻と変わる噴火の状況が克明に残されており、当時の緊迫した様子を知ることができます。





溶岩流が波で侵食されてできた奇石。かつてはメガネ状だった。



雄山の中腹付近にある展望台。伊豆諸島の島々が一望できる。



坂道もラクに走れる。島内を電動アシストレンタルサイクルで観光(完全予約制)。

### 島内アクセス

バス、タクシー、レンタカー、レンタバイク、レンタルサイクル(電動アシスト付き)あり

#### 島の窓口



#### 三宅島観光協会

〒100-1212  
東京都三宅島三宅村阿古  
672-3



#### 三宅村観光産業課

〒100-1212  
東京都三宅島三宅村阿古497  
(三宅村役場臨時庁舎)



赤場暁

椎取神社

ひょうたん山

旧島役所跡

伊ヶ谷港

火山体験遊歩道

雄山

三宅島郷土資料館

三宅村役場臨時庁舎

ふるさとの湯

メガネ岩

七島展望台

阿古港

三宅村レクリエーションセンター

三宅島自然ふれあいセンター・アカコッコ館

富賀神社

迷子椎

三宅島

新瀬池跡

新鼻新山

三池港

三宅島空港

ヘリポート

長太郎池

1983年の噴火で溶岩が流入し、干上がった池。



周囲2km、水深30mの伊豆諸島最大級の淡水湖。

### 島めぐりコース

#### 【1日目】

午前

港に到着 → 民宿の車で宿へ。休憩 → レンタカーで島内をドライブ → 新鼻新山やひょうたん山などジオスポットを巡り火山のパワーを感じる → カフェで名物サバサンドのランチ

午後

三宅島の森を楽しむ半日ツアーに参加 → ふるさとの湯で夕日を見ながらのんびり温泉につかる → 民宿で島料理を堪能

#### 【2日目】

午前

アカコッコ館を見学 → 周辺の大路池、迷子椎などを散策

午後

昼食を購入し、船に乗り込む → 出港

# 御蔵島

豊かな水と深い緑からなる  
魅惑的な島



御蔵島はどこにあるの？

位置：都心から南に199km

面積：20.51km<sup>2</sup>

## アクセス

航路：竹芝－御蔵島（東海汽船）大型

客船で約7時間25分

空路：八丈島空港－御蔵島ヘリポート

（東邦航空）ヘリコプターで約25分

MIKURAJIMA

OGASAWARA Islands



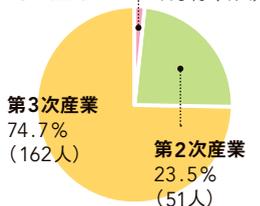
## information

### 島の人々

人口：335人

世帯数：194世帯

### 島の産業



### 公共施設

役場：1

医療機関：1

小学校：1

中学校：1

### 御蔵島村の特産物

水産生鮮品：イセエビ、タカベ

農林産生鮮品：アシタバ

工芸品：ツゲ・桑細工

鉱産品・その他：御蔵の源水

### 御蔵島村のシンボル

花：ニオイエビネラン

木：ツゲ

鳥：オオミズナギドリ

動物：ミナミハンドウイルカ

御蔵島の固有種・  
ニオイエビネラン。



© 御蔵島観光協会

